2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月６日

上場会社名　　株式会社オートウェーブ　　上場取引所　東
コード番号　　2666　　ＵＲＬ　http://www.auto-wave.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）廣岡　大介
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）宮内　和也　　ＴＥＬ　043-250-2669

半期報告書提出予定日　　2026年11月６日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	4,993	7.6	73	△32.3	142	△19.0	78	△22.9
2026年３月期中間期	4,641	14.1	109	87.4	175	50.4	101	50.2

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	5.43	－
2026年３月期中間期	7.04	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	7,883	4,558	57.8
2026年３月期	7,904	4,537	57.4

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　4,558百万円　2026年３月期　4,537百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	4.00	4.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,027	2.0	262	△17.6	400	△12.7	241	△45.4	16.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,451,000株	2026年３月期	14,451,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	211株	2026年３月期	211株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	14,450,789株	2026年３月期中間期	14,450,789株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかに回復基調となりました。しかしながら、中東情勢の緊迫化に伴う原材料価格やエネルギーコストの高騰、物価上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社は事業構造の変革と将来にわたる企業価値の向上を目指し、「車関連事業における収益構造の転換」「成長領域である業務スーパー事業の拡大」および「全社的な生産性・収益性の向上」を基本方針として、各種施策に取り組んでまいりました。

また、お客様との接点の一層の強化を図るべく、９月１日に公式Webサイトの全面リニューアルを実施いたしました。デザインや構成を一新し、レスポンシブ対応を行うことで、スマートフォン等から近隣店舗やサービス情報へ快適にアクセスできる環境を整えております。これにより、車検・整備や車両販売といったカーライフサービスをはじめ、当社の多様な事業への認知度とアクセシビリティを高め、お客様との継続的かつ多面的なエンゲージメント強化を図ることで、地域密着型企業としての強固な顧客基盤の構築とブランド価値の向上に取り組んでまいりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

＜車関連事業＞

車関連事業におきましては、車検・整備を軸とした顧客獲得を推し進めるため、公式アプリ「myCARカルテ」を活用したメンテナンス状況の可視化と予約促進に取り組みました。また、将来にわたる強固な顧客基盤を築くためには、お客様との継続的なつながりをより深めていくことが必要かつ不可欠との認識の下、その大切な接点となる新車・中古車の販売に注力し、購入から整備、乗り換えまでを一貫してサポートするワンストップ体制の構築に努めてまいりました。

この結果、当セグメントの売上高は3,299百万円（前年同期比7.7％増）、セグメント利益は208百万円（前年同期比2.9％減）となりました。

＜業務スーパー事業＞

業務スーパー事業におきましては、当社の成長を支える主要な事業として、収益基盤をさらに広げるための積極的な投資を継続いたしました。当中間会計期間も、新たに「業務スーパー小見川店（千葉県香取市）」をオープンし、地域の皆様の生活利便性をより高めるために、店舗価値の向上に不断に取り組んでおります。これら新規出店に伴う先行費用の発生によりセグメント利益は一時的に押し下げられたものの、地域のお客様に支えられ、既存店を含めた事業全体としては力強い進捗をみせております。

この結果、当セグメントの売上高は1,694百万円（前年同期比7.4％増）、セグメント利益は28百万円（前年同期比46.8％減）となりました。

以上の結果、当中間会計期間における当社の売上高は4,993百万円（前年同期比7.6％増）、営業利益は73百万円（前年同期比32.3％減）、経常利益は142百万円（前年同期比19.0％減）、中間純利益は78百万円（前年同期比22.9％減）となりました。

業務スーパーの新規出店に伴う一時的な費用が発生したため、営業利益については前年同期を下回りましたが、これは当初から予定していた成長のための投資によるものであり、通期業績予想に対する進捗は概ね計画どおり順調に推移しております。

＜事業領域の拡張（10月以降の取り組み）＞

当社は、新たな事業領域の拡張および地域における多角的なサービスの提供を目指し、株式会社カドフジとのフランチャイズ契約に基づき、2026年10月８日にわらび餅専門店「門藤 市原店（千葉県市原市）」を新規オープンいたしました。本わらび餅「脆味（ぜいみ）」や新感覚ドリンク「WARABI-TA（ワラビータ）」など、幅広い年代のお客様に喜ばれる商品展開を通じて、従来のカーライフサービスや業務スーパー事業等に加え、地域の皆様の暮らしに寄り添う新たな価値提供と収益基盤の拡充に取り組んでまいります。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末の総資産は7,883百万円と前事業年度末比20百万円（0.3％）の減少となりました。負債は3,325百万円となり、前事業年度末比41百万円（1.2％）の減少、純資産は4,558百万円で、前事業年度末比20百万円（0.5％）の増加となりました。この結果、自己資本比率は、前事業年度末比0.4ポイント増の57.8％となりました。

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末と比較して23百万円減少し、741百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、354百万円（前年同期は303百万円の収入）となりました。資金の主な増加項目は、税引前中間純利益127百万円、減価償却費118百万円、営業保証金の減少額112百万円であり、資金の主な減少項目は、法人税等の支払額72百万円、未払消費税等の減少額52百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、220百万円（前年同期は33百万円の支出）となりました。資金の主な減少項目は、有形固定資産の取得による支出137百万円、無形固定資産の取得による支出50百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、157百万円（前年同期は143百万円の支出）となりました。資金の主な減少項目は、長期借入金の返済による支出100百万円、配当金の支払額57百万円であります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年５月８日の「2026年３月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	765,540	741,921
売掛金	271,756	253,808
商品及び製品	650,127	644,910
その他	381,110	404,991
貸倒引当金	△334	△334
流動資産合計	2,068,200	2,045,298
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,795,200	1,802,736
土地	2,512,186	2,512,186
その他（純額）	326,671	353,325
有形固定資産合計	4,634,057	4,668,248
無形固定資産	40,079	87,152
投資その他の資産		
敷金及び保証金	882,725	791,759
繰延税金資産	214,195	225,869
その他	65,179	65,535
貸倒引当金	△191	△191
投資その他の資産合計	1,161,909	1,082,972
固定資産合計	5,836,046	5,838,372
資産合計	7,904,246	7,883,670
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,560	275,429
短期借入金	500,000	500,000
１年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	72,023	60,534
その他	700,957	739,928
流動負債合計	1,726,541	1,775,892
固定負債		
長期借入金	680,000	580,000
長期預り保証金	404,580	405,368
資産除去債務	555,512	564,074
固定負債合計	1,640,092	1,549,442
負債合計	3,366,634	3,325,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,505,877	2,505,877
利益剰余金	1,931,890	1,952,614
自己株式	△155	△155
株主資本合計	4,537,612	4,558,336
純資産合計	4,537,612	4,558,336
負債純資産合計	7,904,246	7,883,670

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,641,678	4,993,495
売上原価	3,256,920	3,554,927
売上総利益	1,384,757	1,438,567
販売費及び一般管理費	1,275,469	1,364,621
営業利益	109,288	73,945
営業外収益		
受取手数料	59,369	59,758
廃棄物リサイクル収入	14,800	14,114
その他	3,732	6,958
営業外収益合計	77,903	80,830
営業外費用		
支払利息	9,252	11,492
その他	2,218	918
営業外費用合計	11,470	12,410
経常利益	175,720	142,365
特別損失		
減損損失	13,765	－
固定資産除却損	703	14,811
特別損失合計	14,469	14,811
税引前中間純利益	161,251	127,553
法人税、住民税及び事業税	50,917	60,699
法人税等調整額	8,546	△11,673
法人税等合計	59,463	49,025
中間純利益	101,788	78,527

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	161,251	127,553
減価償却費	112,083	118,226
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5	－
受取利息及び受取配当金	△605	△1,282
支払利息	9,252	11,492
減損損失	13,765	－
契約負債の増減額（△は減少）	26,419	△18,637
売上債権の増減額（△は増加）	60,830	17,947
棚卸資産の増減額（△は増加）	△14,922	5,217
仕入債務の増減額（△は減少）	△34,680	21,868
未払費用の増減額（△は減少）	△977	15,867
未払消費税等の増減額（△は減少）	57,139	△52,842
営業保証金の増減額（△は増加）	△158	112,468
その他	22,827	78,897
小計	412,231	436,778
利息及び配当金の受取額	603	1,282
訴訟関連損失の支払額	△30,000	－
利息の支払額	△9,257	△11,482
法人税等の支払額	△69,676	△72,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	303,901	354,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,240	△137,999
無形固定資産の取得による支出	△3,110	△50,412
固定資産の除却による支出	△451	△12,422
敷金及び保証金の差入による支出	△11,287	△22,000
敷金及び保証金の回収による収入	498	498
預り敷金及び保証金の受入による収入	－	788
その他	△8,091	1,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,682	△220,384
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
配当金の支払額	△43,019	△57,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,019	△157,623
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	127,199	△23,618
現金及び現金同等物の期首残高	529,690	765,540
現金及び現金同等物の中間期末残高	656,890	741,921

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間損益計算書計上額（注）２
	車関連事業	業務スーパー事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,658,550	1,577,232	4,235,783	－	4,235,783
その他の収益	405,894	－	405,894	－	405,894
外部顧客への売上高	3,064,445	1,577,232	4,641,678	－	4,641,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,064,445	1,577,232	4,641,678	－	4,641,678
セグメント利益	215,224	53,285	268,509	△159,220	109,288

（注）１．セグメント利益の調整額△159,220千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「車関連事業」において、土地の有効活用の一環として老朽化した建物を取り壊したことに伴う減損損失13,765千円を計上しております。

Ⅱ　当中間会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間損益計算書計上額（注）２
	車関連事業	業務スーパー事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,886,467	1,694,445	4,580,912	－	4,580,912
その他の収益	412,582	－	412,582	－	412,582
外部顧客への売上高	3,299,050	1,694,445	4,993,495	－	4,993,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,299,050	1,694,445	4,993,495	－	4,993,495
セグメント利益	208,950	28,341	237,292	△163,346	73,945

（注）１．セグメント利益の調整額△163,346千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。